



唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

“ 奉仕を通じて平和を ”

RI会長
田中作次
2570地区ガバナー
鈴木秀憲

重点課題は奉仕の追求

第 2532 例会 2013.2.27

—— 世界理解月間 ——

天候曇 (NO. 49-35)

会長 安藤泰雄 幹事 島田秀和

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 市川昭君、加藤君

例会場: マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 安藤会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・米山記念奨学生 リュウ・ユウヒさん
- ・卓話 西川武重郎様

【会長報告】

2/24(日)東松山・紫雲閣で地区米山記念奨学生の修了式が行われ、市川(洋)委員長とお祝いに出席させて頂きました。

「3月11日」からまもなく丸2年の今日、こうして西川PGにお出で頂きました。震災遺児に対する活動をされています。飯能も半田、吉島会長年度、さまざまな活動に取り組みました。本日お話を賜るなかで3.11の重さをかみ締め、今、何が出来るかを考える例会に出来ればと思います。

◎リュウさんへ奨学金贈呈

【幹事報告】

- ・3月ロータリーレート1\$=92円
- ・週報:所沢中央より
- ・3/6第10回役員会11時半より

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・3/12(火) 3/9 IMに振替
- ・3/26(火) 通常例会(前回と変更)
- ・4/9(火) 移動例会 長久寺
- ・4/23(火) 4/20・21 地区大会に振替
- ・4/30(火) 休会(定款第6条)

【委員会報告】

◎米山記念奨学委員会 市川(洋)君
24(日)「修了式ならびに歓送会」。修了にはカウンセラーとしての報告が必要で、ご報告申し上げます。

ました。「結構」との事で理事長よりの「感謝状」を頂戴。リュウさんも一生懸命やったという事で「修了証書」を頂きました。3月の夜間例会への出席が最終になります。実質的に地区としては終了、責任を果たせたという事でご報告申し上げます。

◎リュウさん挨拶:この1年に得たものは一生の宝物になると思います。カウンセラーはもちろん会長、前会長、皆様、本当にお世話になりました。

◎ロータリー情報委員会 木川君

2月第1例会で依頼した「クラブ評価表」は11名の提出。本日締切りですが、少ないので来週まで締切りを延長。ご協力頂きたい。

【出席報告】無断欠席なし

川口出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
54名	6名	51名	94.44%	90.74%

【M U】

2/12(日高) 中里(忠)君
2/24(地区) 安藤君、市川(洋)君
2/26(日高) 山岸君、田辺君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・西川パストガバナーようこそ。本日は卓話よろしくお願ひ致します。中里(昌)君、半田君、吉島君、高橋君、土屋(良)君、安藤君、吉田(武)君、山川君、島田君、小川君

・早退 柏木君、吉澤君

本日計12,000円、累計額860,621円。

◎6日例会当番は神田(康)、木川会員です。

【卓 話】

講師紹介

高橋プログラム委員長

地区PG、研修リーダーとしてご活躍。「希望の風」では会計監査の重責を務めておられます。

ロータリー希望の風奨学金

第2570地区パストガバナー 西川武重郎様

この話をさせて頂く時には、^{こんまなみ}昆愛海ちゃんの絵を連れて参ります。愛海ちゃんはお父さん、お母さん、妹さんと一緒に津波に流され、服が何かに引っ掛かり彼女だけが助かった。3/31読売1面に載った「ままへ」。これを見て私は、何としてもこういう子ども達の義援金を立ち上げたいという強い思いを抱いたわけです。

同期のガバナーが震災後、東京に集まり「まず義援金を」という事で約10億円集まった。どう使うかで意見が分かれたが、福島のパストガバナーの「被災遺児のため“コメ百俵”」という事でまとまる。しかし各地区、帰ってからのいろんな意見が出て結局オールジャパンで何かをする事が出来なくなった。義援金は地区の事情で使うという事で地区に返金。その中で10名のガバナーが「やはり我々は被災遺児のために使いたい」と強く思った。その1人が私だったのです。

読売の川越支局長・竹田氏に話をしたら、昨年6月埼玉版「日時計」に記事が掲載：志木ロータリークラブの西川武重郎さん(70)は、東日本震災直後の昨年3月31日、読売新聞に掲載された写真に目を奪われた。…突然いなくなった母への思いをつづったノートに顔をのせて眠るあどけなげな表情に「涙が止まらなかった」。親を失った子供たちはこれからどう生きていくのか…西川さんから10地区のガバナーが呼びかけ、約4億5000万円を基金に創設したのが「ロータリー希望の風奨学金」だ。大学(短大も含む)や専門学校に通う震災遺児たちに、月5万円を給付し、卒業まで学業を維持できるよう支援する。返還は不要。3月現在で37人が受給している。…西川さんの手帳には皇后さまが、愛海ちゃんの写真を見て詠まれた歌が大切に挟まれている。

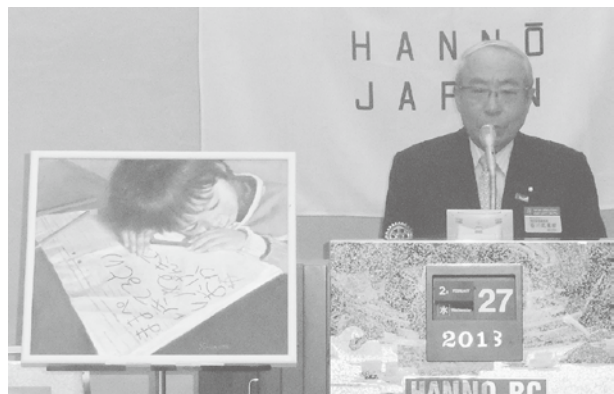
「生きてるといいねママお元気ですか」^{ふみ うなが}文に頃
し幼な児眠る

竹田支局長に御礼の電話をさせて頂いた時に、彼から心温まる手紙と共にこの「絵」が届けられたのです。
：川越市の画家・広瀬保彦さんは現在78歳で、半世紀以上、映画の看板を描き続けていた方…古里に向かって祈りを捧げる、福島県双葉町の親子の絵を描き、読売新聞でも取り上げさせて頂いた方です。

この絵と一緒に地区セミナー等でお話させて頂いております。11年11月1日から運動を始め、現在累計5億1853万1794円が全国から集まっており、地区では1765万1920円から始め、現在2256万6138円。1年強で360万4218円の協力を頂いております。

志木では3.11前後の例会を「ロータリー希望の風奨学金例会」とし、「スマイル」と一緒に義援金のお願いをしています。「ままへ」をそのまま使った、金額、名前、メッセージを書く紙を作りました。愛海ちゃんが大学を卒業するまであと20年。私は90。しかし、途中で止めるわけにいきません。

皆さんにご協力を頂く意味で、奨学生達に感想等話してもらおうという意見が出てアンケートを全奨学生に出してもらったのですが、「まだ自分は人の前で心境を話すゆとりがない」という意見が圧倒的でした。



人のために奉仕をする、汗を流す事が、豊かな人生を送れる唯一の方法だとロータリーで学ばせて頂きました。自分さえ良ければいいという自己中心的な考え方もありますけれども、こういう考え方で本当の豊かさというものをつかんだ人はいないのではないかと私は思うのです。人としての本当の豊かさをつかむには自己中心的な考え方の対極にある「利他の心」で行動する事だと私は思っております。「利他の心で行動しよう」は私の年度のテーマ。前年の加藤G「今を大事に」利他の心で行動すれば「いい風ふくよ」となるのではないのでしょうか。我々が次の代に残すべき本当の富とは何か。陰徳でも陽徳でもいいですが、徳を残していく事がロータリアンとして一番大事ではないか。そういう意味で情熱をもって取り組んでおります。

私は地区大会を中止し、浮いた1千万円を義援金に回した決断は間違いでなかったと思っておりますが、その地区大会に『ロータリーの心と原点』の著者・廣畑富雄PGに来て頂くつもりでした。本の中から、02-03年度RI会長・ピチャイ・ラタクル氏が日本で講演された内容をご紹介します。：世界中どここの例会に行っても「四つのテスト」の言葉が書いてあり…それぞれの国の言葉によって例会の時に唱和します。私は…それを実践する事こそ求められていると言うのです。…ロータリーは非常に素晴らしい人道的活動をして来ました。…その中の1つ、たぶん東京RCが始めた良いプログラムがあります。カンボジアは、タイの国境沿いにクメール・ルージュの時代にたくさん地雷を埋めました。この地雷の除去のプログラムです。…1人の貧しい農夫が居りました。この人は地雷を踏んで足を失くしました。…奥さんは自分の将来がどうなるか不安を感じて彼の元を去りました。彼の元には幼い赤ちゃんが残され、非常な苦境に陥りました。そういう苦境の中で日本からの援助があり…この男性は…優れた人工義足のお陰で立派に仕事が出来ようになり、娘の教育費も稼ぎ出す事が出来ました。この娘さんは看護婦として自立するのですが、その卒業の日にお父さんを招待しました。この日はちょうどお父さんの誕生日でもあったのです。娘さんは何かプレゼントをしたかった。…小さい時にお父さんと一緒に写っている小さな写真…お嬢さんはこの写真の裏にメッセージを書きました。「お父さん、私達はこれから一緒に歩きましょう」。…一緒に歩いているのはこの親子だけではありません。ここにおられる皆様方もこの親子と一緒に歩んで来られたのです。…どんな困難に直面しようとも、それに打ち勝つように共に歩いていきましょう。皆さん、ここにバッチをつけておられると思いますが、是非これを身につける事を誇りにして下さい。そしてこのバッチを見る度に、何か人間にとって、人類にとって、良い事をするという責任があるのだというふうに思っ頂きたいのです。

被災遺児達と共に歩く取り組みを私達もしていきたいという願いをして、卓話を終わらせて頂きます。

※次週の例会案内は省略。